

柳澤 伸司教授 略歴と業績

I. 略 歴

1960年1月	長野県に生まれる
1984年3月	創価大学文学部社会学科卒業
1987年3月	創価大学大学院文学研究科修士課程修了
1989年12月	財団法人電気通信政策総合研究所嘱託研究員
1990年3月	創価大学大学院文学研究科博士後期課程満期退学
1990年10月	財団法人電気通信政策総合研究所専任研究員
1993年4月	立命館大学産業社会学部助教授
2003年4月	立命館大学産業社会学部教授
2025年3月	立命館大学定年退職
2025年4月	立命館大学特別任用教授・名誉教授

(主な学内役職歴)

1995年4月～1996年3月	産業社会学部	学生主事
2000年4月～2001年3月	産業社会学部	調査委員長
2004年4月～2005年3月	産業社会学部	副学部長
2007年4月～2008年3月	産業社会学部	専攻長（メディア社会専攻）
2008年4月～2011年3月	教学部	副部長
2014年4月～2016年3月	産業社会学部	専攻長（メディア社会専攻）

II. 専門分野

専門分野 社会学

担当科目 ジャーナリズム論, メディア倫理, メディア史研究

学 位 博士（社会学, 立命館大学, 2009年12月）

研究課題 ジャーナリズム, N I E（新聞利用学習）, メディア・リテラシー

所属学会 日本N I E学会, 日本メディア学会

III. 主な研究業績

著 書

- 1.（分担執筆）「スウェーデン」『世界のマス・メディア法』（榎原猛編, 嵯峨野書院, 1996年4月）203-223頁
- 2.（共著）「地域メディアとジャーナリズム」『情報化と地域社会』（大石裕・吉岡至・永井良和・柳澤伸

- 司，福村出版，1996年12月）169-206頁
- 3.（分担執筆）「昭和初期における新聞」『情報読解力を育てる NIE ハンドブック』（日本N I E学会編，明治図書，2008年12月）32-41頁
 - 4.（単著）『新聞教育の原点 — 幕末・明治から占領期日本のジャーナリズム』（世界思想社，2009年 3月）1-432頁
 - 5.（分担執筆）「ジャーナリズムの歴史と課題」『はじめてのメディア研究—「基礎知識」から「テーマの見つけ方」まで』（浪田陽子・福間良明編，世界思想社，2012年 4月）71-96頁
 - 6.（分担執筆）『はじめて学ぶ 学校教育と新聞活用 考え方から実践方法までの基礎知識』（小原友行・高木まさき・平石隆敏ほか編，ミネルヴァ書房，2013年 3月）62-63頁，76-79頁，82-85頁，88-95頁，106-111頁，114-125頁，130-131頁，136-139頁
 - 7.（分担執筆）「発掘！あるある大事典Ⅱ事件」「光市母子殺人事件」「Vチップ」「僕パパ事件」「良心条項」『現代ジャーナリズム事典』（武田徹・藤田真文・山田健太監修，三省堂，2014年 6月）241-242頁，254-255頁，261頁，299-230頁，334頁
 - 8.（分担執筆）「新聞教育その歴史と課題」「『災後』に求められるN I E」「新聞を通した様々な学び—大学での試み—」「デジタルで変わる学び、変わらない新聞の意義」『新聞で育む、つなぐ』（日本NIE研究会編，東洋館出版社，2015年 5月）8-23頁，122-127頁，158-163頁，206-209頁
 - 9.（共著）「NIE が変える教育と新聞—学習材としての新聞の「危うさ」と「面白さ」」『メディア・リテラシーの諸相 表象・システム・ジャーナリズム』（浪田陽子・柳澤伸司・福間良明編，ミネルヴァ書房，2016年 3月）33-60頁
 - 10.（分担執筆）「学校新聞は民主社会の担い手づくり」『探求の学びを拓く NIE —多様性の中の確かな指針として—』（日本NIE学会編，京都新聞出版センター，2024年）194-200頁
 - 11.（分担執筆）「メディアの活用～誰もが情報に権利と責任を持つ時代～」『18歳からの学びを拓く』（稲井達也・成田秀夫監修，大学図書出版，2025年 3月）116-121頁

論 文

- 1.（単著）「スウェーデン社会とメディアのいま」（『新聞研究（570）』，日本新聞協会，1999年 1月）51-55頁
- 2.（単著）「NIE が変えるジャーナリズム」（『総合ジャーナリズム研究（172）』，2000年 4月）58-59頁
- 3.（単著）「新聞批判とジャーナリズム理論」（『マス・コミュニケーション研究（57）』日本マス・コミュニケーション学会，2000年 7月）23-34頁
- 4.（単著）「新しいメディア教育の試み」（『マス・コミュニケーション研究（59）』日本マス・コミュニケーション学会，2001年 7月）19-29頁
- 5.（単著）「北欧のN I E事情 社会とかかわり市民として育てる媒介に」（『新聞研究（623）』，日本新聞協会，2003年 6月）64-67頁
- 6.（単著）「優れたN I E実践とは～理論化のためのフレーム」（『日本N I E学会誌（3）』，日本N I E学会，2008年 3月）81-93頁
- 7.（単著）「青少年ネット環境整備法と教育の役割」（『学校運営 50（6）』全国公立学校教頭会編集，2008年 9月）6-11頁

8. (単著)「日本型N I Eの課題と展望～さらなる新聞（ジャーナリズム）研究にむけて～」(『日本N I E学会誌 (5)』, 日本N I E学会, 2010年3月) 151-158頁
9. (単著)「メディアとN I Eの関係—N I Eは新聞をどう変えるか—」(『日本N I E学会誌 (6)』, 日本N I E学会, 2011年3月) 125-126頁
10. (単著)「NIEの歴史的諸課題—さらなる新聞教育の研究にむけて—」(『日本N I E学会誌 (7)』, 日本N I E学会, 2012年3月) 1-10頁
11. (単著)「「新聞」との多角的な連携—「記事」活用を超えるNIEの可能性—」(『日本N I E学会誌 (13)』 日本N I E学会, 2018年3月) 1-10頁
12. (単著)「なぜ「新聞・紙」なのか—ジャーナリズム・リテラシーへの視点—」(『日本N I E学会誌 (15)』 日本N I E学会, 2020年3月) 1-10頁
13. (単著)「「検閲」の罫と言論・思想の自由」(『新聞と教育 (321)』 新聞教育研究所, 2024年3月) 5-9頁

Ⅳ. 社会における活動

2002年～2024年	エフエム京都放送（ <i>a</i> ステーション）放送番組審議会委員長
2008年～2011年	日本マス・コミュニケーション学会監事
2005年～現在に至る	日本N I E学会常任理事

以上

